

環境協定締結事業所におけるこの1年間の取組みの成果

事業所名 福井県民生活協同組合
代表者 理事長 竹生 正人
所在地 福井市開発5丁目1603番地
協定期間 平成28年11月1日～平成29年10月31日
(初回締結日 平成19年11月1日)

1. 取組み内容と成果

- (1) CO₂排出量は、生協全体で7,113 t (前年比99.8%) とほぼ横ばいだった。カーボンオフセットの取組みを行い、154 tのCO₂を環境ふくい推進協議会より購入し、償却を行った。
- (2) エコセンターで生協注文書1,795 t、新聞紙635 tなどの回収を行った。またリサイクルステーションでは、1,218 tの古紙と13 tの廃食油を回収した。
- (3) ハーツ三方五湖店を除く全店で、ベース照明のLED化を行った。
- (4) 小水力発電の提案を外部より受けながら、調査研究を進めた。PPS事業については、2020年度の発送電分離までは、一旦凍結することにした。
- (5) 電力の自由化学習会や、夏休みのこども向けの環境教室、ごみゼロの日や、行政・自治体主催の環境イベントへの出展などを行い、環境教育の推進に積極的に協力した。
- (6) エシカル消費の普及を2017年度重点的に行い、6月を環境商品普及月間に位置づけ、環境ラベルの理解を含めて普及活動や情報提供に取り組んだ。
- (7) LOVEアースふくいのロゴを、情報誌「がんばらにゃ」や環境レポートに掲載し、県民運動の普及促進に協力した。

2. 活動の取組み事例



ベース照明のLED化



リサイクルステーション



エシカル消費普及推進の展示

3. 協定書に追加する新しい取組みについて

新規に設置する店舗や複合施設において、エコストアコンセプトに沿った省エネ型施設の設計や新エネの導入を積極的に進め、地域にやさしいお店づくりをすすめます。